

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	廃棄物処分基準等設定費		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者	産業廃棄物課長 塚本直也	
事業開始・終了(予定)年度	平成4年度～		担当課室	産業廃棄物課				
会計区分	一般会計		政策・施策名	4. 廃棄物リサイクル対策の推進 4-4 産業廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等) 4-5 廃棄物の不法投棄の防止等				
根拠法令(具体的な条項も記載)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第12条第1項(産業廃棄物処理基準)等		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	産業廃棄物の適正処理の確保のため、廃棄物処理に係る技術の進歩や処理の実態等の実態把握を行うとともに、その成果を踏まえ、現行の産業廃棄物処理基準や産業廃棄物処理施設の構造や維持管理に係る技術上の基準について必要な見直しを行う。 また、有害廃棄物の適正処理方策について必要な規制を行うことで健康被害及び環境影響を未然に防止することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	①既存産業廃棄物処理施設等に係る維持管理等の実態把握調査 ②最終処分場に係る基準のあり方に関する検討調査 ③有害廃棄物の適正処理方策に係る検討調査							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	80	94	68	55	114	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計		80	94	68	55	114	
	執行額		65	67	87			
執行率(%)		81	71	128%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	適切な処分基準等の設定により、産業廃棄物の処理による生活環境への影響を防止する調査業務であるため、成果実績の数値化は困難			成果実績				
			達成度	%				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	調査対象数			活動実績(当初見込み)	271	()	()	()
単位当たりコスト	(円/)			算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	32	45	調査対象地域が増えたため				
	環境保全調査等地方公共団体委託費	23	69					
計	55	114						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	有害廃棄物の適正処理方策について必要な規制を行うことで、健康被害及び環境影響を未然に防止するもの。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争入札により競争性を確保している。また、随時、業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	産業廃棄物の適正処理の確保のため、既存産業廃棄物処理施設等に係る維持管理等の実態把握調査等を適切に行うことができ、今後とも必要な事業であるとする。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>廃棄物処理に係る諸基準の点検においては、過去の処理行為による影響の発生の有無や廃棄物処理技術の進歩を十分把握し、生活環境の保全を図る観点から適切に検討を行う必要がある。また、資源循環の推進や国際的な取り組みなども踏まえた施策形成が必要となる。</p> <p>廃棄物処理に係る技術的課題については、緊急に対応を講じるべき必要性が生じる場合もあり、今後も臨機応変に重要課題に対処していくことが肝要である。こうした必要性を有機的に結合させ、事業の合理化、効率化を図っていきたい。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	129	平成23年	121	平成24年	129

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
86.7百万円

【一般競争入札】

A. (財)産業廃棄物処理振興財団
3.5百万円

産業廃棄物処理委託に係る情報提供等のあり方検討業務

【総合評価入札】

B. (株)エックス都市研究所
11.6百万円

・水銀条約化に向けた水銀廃棄物の環境上適正な管理に関する調査業務

【総合評価入札】

C. (株)東和テクノロジー
29.4百万円

・POPs廃棄物国際的動向等調査業務

【少額随意契約】

D. (株)MID交通
0.06百万円

・施設調査のためのジャンボタクシー借り上げ

【少額随意契約】

E. (株)五月商会
0.3百万円

・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の一部を改正する政令案について」閣議書類の印刷

【企画競争入札】

F. 一般社団法人
日本環境衛生センター
14.9百万円

・放射性物質により汚染された廃棄物の処理方法の技術的な検討を行うとともに、ガイドラインの改訂・拡充等を行うための調査業務

【随意契約・委託費】

G. 北九州市
27百万円

・産業廃棄物処理施設周辺の定点把握調査業務
・請負業務が的確かつ効果的に実施されるよう請負業者を管理・監督

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位:百万円)

A.(財)産業廃棄物処理振興財団			G.北九州市		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			外注費	外部委託による分析業務等	18
		3.5	その他	借料、旅費、印刷製本、消耗品等	9
計		3.5	計		27
B.(株)エクス都市研究所					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	統括研究員、主任研究員、研究員、研究員助手	7.56			
諸謝金	検討会謝金(有識者5人、検討会2回)	0.14			
旅費	検討会旅費及び日当(検討会2回)	0.21			
借料及び損料	検討会会場借上料(検討会1回)	0.03			
会議費	検討会会議費	0.02			
印刷製本費	検討会資料コピー、報告書製本費	0.17			
委託費	金属水銀安定化・固形化、溶出試験等	1.64			
雇上費	アルバイト、派遣社員	0.31			
一般管理費		1.48			
計		11.6	計		0
C.(株)東和テクノロジー					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査・検討、打合せ、検討会開催、国際会議(OEWG)出席、燃焼実験対応	15.8			
旅費	国際会議(OEWG)対応、打合せ、検討会開催、燃焼実験立会い	2.1			
賃料及び損料	検討会会場借上、謝金、資料コピー	1.6			
その他	燃焼実験再委託、翻訳、電話会議	9.9			
計		29.4	計		0
F.一般社団法人日本環境衛生センター					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
		14.9			
計		14.9	計		0

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)産業廃棄物処理振興財団	産業廃棄物処理委託に係る情報提供等のあり方検討業務	3.5	3	45%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エックス都市研究所	水銀条約化に向けた水銀廃棄物の環境上適切な管理に関する調査業務	11.6	1	98%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東和テクノロジー	POPs廃棄物の国際的動向等調査業務	29.4	1	92%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)MID交通	施設調査のためのジャンボタクシー借り上げ	0.06	随意契約	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)五月商会	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の一部を改正する政令案について」閣議書類の印刷	0.3	随意契約	—

F.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	一般社団法人日本環境衛生センター	放射性物質により汚染された廃棄物の処理方法に関するガイドライン等の技術的検討業務	14.9	企画競争契約	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北九州市	産業廃棄物に係る適正処理状況把握等調査	27	随意契約	—